

2014年8月19日

各 位

会社名 朝日インテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦
(東証第二部・名証第二部 コード番号:7747)
問合せ先 経営戦略室 室長 伊藤 瑞穂
(TEL.052-768-1211)

会社名 ボストン・サイエンティフィックコーポレーション
代表者名 インターベンショナル カードイオロジー
グローバル 社長 ケビン・バリンジャー
問合せ先 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
コーポレートマーケティング部 部長 北脇 健市
(TEL.03-6853-6946) (携帯電話:080-2414-4574)

ボストン・サイエンティフィック社と朝日インテック株式会社 業務提携を開始

両社は先進的な FFR (冠血流予備量比) ワイヤーの開発及びボストン・サイエンティフィック
Rotablator™ RotaWire™のさらなる改良に向けたプログラムに合意

ボストン・サイエンティフィック コーポレーション (以下「ボストン・サイエンティフィック」)
と朝日インテック株式会社 (以下「朝日インテック」) は、FFR (冠血流予備量比) ワイヤー及び
RotaWire™ Atherectomy Guidewire (ロータワイヤー) に関して、業務提携を開始いたしますので、お
知らせいたします。

記

1. 業務提携の内容

ボストン・サイエンティフィック (ニューヨーク証券取引所: **BSX**) と朝日インテック (東証第二部、名証第二部: コード番号 7747) は、新しい先進な FFR (冠血流予備量比) ワイヤー (注1)を開発・製造するための共同プログラムについて発表いたしました。このプログラムは両社が、既存の FFR (冠血流予備量比) ワイヤーに比べて、飛躍的に操作性を高めた機器を開発するという目的で開始しております。

FFR 市場は、世界で2億5千万ドルを上回る規模を持つインターベンショナル・カードイオロジーにおける新規勃興の分野であり、その成長率は2桁となる成長市場です。FFR の使用による経皮的冠動脈形成術 (PCI 治療) は費用対効果に優れ、同時に1年間の MACE (主要有害心臓事象) の率を減少させます。共同で開発する FFR (冠血流予備量比) ワイヤーは、ボストン・サイエンティフィックの **Polaris Multi-Modality Imaging System** で利用可能になります。

両社はまた、プログラムの一環として、ボストン・サイエンティフィックが設計した最新式の RotaWire™ Atherectomy Guidewire（以下、「ロータワイヤー」(注2)）について、朝日インテックがボストン・サイエンティフィックに対して主要部品を提供し、改良強化に関して提携をすることを決定しました。朝日インテックは、改善された操作性と制御能力を備えるようにするため、ボストン・サイエンティフィックにより設計された最新式のロータワイヤーへ、部品供給を行います。ロータワイヤーは、冠動脈石灰化病変の治療に用いられて市場をリードしている **Coronary atherectomy system** に使用されます。朝日インテックが供給する部品の採用により、ロータワイヤーの性能が向上し、複雑な冠動脈疾患の治療の改善に寄与することを見込んでおります。

なお、ボストン・サイエンティフィックは、この2つの特別なワイヤーを2015年に製品化することを予定しています。

ボストン・サイエンティフィックのインターベンショナル カードイオロジー グローバル 社長のケビン・バリンジャーは、「ボストン・サイエンティフィックは、朝日インテックと共同で取り組むことにより、冠動脈疾患の患者様の症状改善に役立つことを大変期待しています。朝日インテックのガイドワイヤー技術は他社に追随を許しません。私たちの技術の持つ強みと組み合わせれば、インターベンショナル・カードイオロジーの世界において、まさに差別化された独自の製品を生み出すチャンスが訪れることとなります。」と述べています。

朝日インテックの代表取締役社長・宮田昌彦は「ボストン・サイエンティフィックはセンサーやアテレクトミーで優れた技術を保有しています。それらの技術と我々のワイヤーや部材に関する専門性を融合させることで、これらの製品の操作性を格段に高めることができるでしょう。ボストン・サイエンティフィックとのパートナーシップを通じて、我々は患者様の QOL 向上に貢献することができると確信しています。」と述べています。

(注1) : FFR (冠血流予備量比) ワイヤーとは、冠動脈内の狭窄部位前後の血流の圧較差を測定し、狭窄により血流がどの程度阻害されているか、病変がどの程度重度かを推測するセンサーが組み込まれたワイヤーです。その測定された指標は、冠動脈に対する治療が必要であるか否かを判断する材料の一つとなります。

(注2) : ロータワイヤーとは、動脈内の狭窄病変を高速回転するダイヤモンドドリルによって削り取る治療具 (ロータブレーター) を、病変に導くために使用するワイヤーとなります。

2. 各社の概要

1) ポストン・サイエンティフィックコーポレーション

- 1) 主な事業内容 医療機器の開発・製造・販売
- 2) 本 社 米国 マサチューセッツ州マールボロー
- 3) 代 表 者 インターベンショナル カードイオロジー グローバル 社長
ケビン・バリンジャー

2) 朝日インテック株式会社

- 1) 主な事業内容 医療機器の開発・製造・販売
極細ステンレスワイヤーロープ及び端末加工品等の開発・製造・販売
- 2) 本 社 愛知県名古屋市守山区脇田町 1703 番地
- 3) 代 表 者 代表取締役社長 宮田 昌彦

3. 業績に与える影響

本件に関わる業績への影響は軽微です。

中長期的に両社の業績の向上に資するものと見込んでおりますが、2014年8月12日に、朝日インテック株式会社が公表させて頂きました新中期経営計画「Global Expansion 2018」における2015年6月期及び2016年6月期の業績見通しに与える影響はございません。

なお、リリースに掲載されている将来に関わる一切の記述内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績等が記載されているものと異なる可能性があります。そのため、実際の結果等は本プレスリリースに記述された内容から大きく乖離する可能性があることをご承知おきください。

以上